

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●スプリンターズSでタワーオブロンドンがG I 初制覇

9月29日(日)に行われたスプリンターズS(G I)ではタワーオブロンドン(牡4歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。タワーオブロンドンは本年のサマースプリントシリーズ優勝馬で、同シリーズ優勝馬がスプリンターズSを制するのは史上初のこと。また馬主であるゴドルフィンが昨年のファインニードルに続く連覇。同一馬主によるスプリンターズS連覇は、G I に昇格した1990年以降では(株)さくらコマース(1993年・1994年/サクラバクシンオー)、(株)ロードホースクラブ(2012年・2013年/ロードカナロア)、(株)東京ホースレーシング(2016年・2017年/レッドファルクス)に続く4例目ですが、異なる馬での連覇は初めてのこととなります。

●堀井雅広調教師がJRA通算400勝を達成

9月29日(日)の4回中山9日・第10レースとして行われた勝浦特別ではグッドジュエリーが1着となり、同馬を管理する堀井雅広調教師(美浦)は、現役38人目となるJRA通算400勝(延べ7164頭目)を達成しました。

●メロディーレーンが2つの記録を更新

9月28日(土)の4回阪神8日・第6レースでは、メロディーレーンが馬体重338kgで勝利しました。これは自身が今年6月に記録した340kgを更新する、JRA最少馬体重勝利記録となります。また勝ちタイムの2分37秒1は、2012年にサクセスバッシュが記録した2分37秒3(福島)を更新する、3歳以上・芝2600mの中央競馬レコードタイムとなりました。

●アポロケンタッキー、ハービンマオの競走馬登録抹消

2016年みやこS(G III)や同年の東京大賞典(大井・G I)などの勝ち馬アポロケンタッキー(牡7歳/栗東・山内研二厩舎)は、9月27日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算20戦7勝・地方16戦2勝・海外1戦0勝で、今後は北海道新ひだか町のへいはた牧場で種牡馬となる予定です。2018年関東オークス(川崎・Jpn II)の勝ち馬ハービンマオ(牝4歳/美浦・中館英二厩舎)は、10月2日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算6戦1勝・地方3戦1勝で、今後は北海道登別市の登別上水牧場で繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●東京盃(大井)はコバノキッキング、藤田菜七子騎手は重賞初制覇

東京盃(Jpn II、10月2日、大井、1200m)は、逃げたコバノキッキング(藤田菜七子騎手、騾4歳、父スプリングアットラスト)がブルドッグボス(浦和)を4馬身引き離し、単勝1.5倍の支持に応えました。サクセスエナジーは3着、ニホンピロタイドは6着、2番人気のヒザクリゲは8着、3番人気のグラントボヌールは10着でした。藤田菜七子騎手は女性初のダートグレード競走制覇です。

●アンデスクイーンがレディスプレリユード(大井)で重賞2連勝

レディスプレリユード(Jpn II、10月3日、大井、1800m)は、中団から追い上げた3番人気のアンデスクイーン(戸崎圭太騎手、牝5歳、父タートルボウル)が、先に抜け出した1番人気のファッションニスタをゴール前で捉えました。ラビットランが3着、マドラスチェックは8着、2番人気のプリンシアコメータは10着でした。

●グリムが人気に応じて白山大賞典(金沢)連覇達成、重賞5勝目

白山大賞典(Jpn III、10月1日、金沢、2100m)は、3番手から4コーナーで先頭に立った1番人気のグリム(浜中俊騎手、牡4歳、父ゼンノロブロイ)が、2番人気のデルマルヴェルの追撃をクビ差凌いでこのレース連覇を達成。ノーヴァレンダが3着、テルペリオンは4着、逃げた3番人気のリアンヴェリテは7着に敗れています。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド笠松の結果

2019ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド笠松は9月25日に実施され、第1戦は田村直也騎手(兵庫)、第2戦は三津谷隼人騎手(栗東)が優勝しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ジョッキークラブGC~コードオブオナーが繰り上がり優勝

米国ニューヨーク州のベルモントパーク競馬場で9月28日に行われたG1ジョッキークラブゴールドC(3歳上、ダート2000m)は1位入線のヴィーノロッソが走行妨害で2着に降着。ハナ差の2位で入線したコードオブオナー(牡3歳、父ノーブルミッション、C. マゴーヒー厩舎)が繰り上がっての優勝となりました。コードオブオナーは今年5月のG1ケンタッキーダービーで3位入線繰り上がりの2着の後、7月のG3ドワイヤーS(ダート1600m)と8月のG1トラヴァーズS(ダート2000m)を連勝していました。

●G1ヴォスバーグS~インペリアルヒントが連覇達成

上記G1ジョッキークラブゴールドCの6レース前に同じベルモントパーク競馬場で行われたG1ヴォスバーグS(3歳上、ダート1200m)は単勝1.25倍の圧倒的な1番人気に推されたインペリアルヒント(牡6歳、父インペリアルリズム、L. カルバハルJr. 厩舎)が最後の直線で2番人気のフィレンツェファイアにわずかに前に出られましたが、そこから差し返してハナ差で勝利。このレース連覇を果たしました。インペリアルヒントは3月のG1ドバイゴールデンシャヒーン3着(マテラスカイが2着)の後、7月のG1アルフレッドG. ヴァンダービルトH(ダート1200m)を制していました。